

## 「ロータリーソング」についての情報

### 「奉仕の理想」

奉仕の理想に 集いし友よ

御国に捧げん 我らの生業

望むは世界の 久遠の平和

巡る歯車 いや輝きて

永久に栄えよ

### 我らのロータリー

まずは、「奉仕の理想」のロータリーソングとしての成立の経緯をお話したいと思います。

時は1920年(大正9年)10月20日東京に初めてRCが創立され、続いて大阪・神戸・名古屋・京都・横浜・京城・広島・大連・奉天・ハルビン・台北と設立され、1930年には11RCの拡大発展となりました。

この頃は、例会で歌うソングは全て英語の歌詞でした。そこで、日本語によるロータリーソング作成の要望が強くなってきました。1930年神戸の地区大会で奉天RCの提案による「日本語によるロータリーソングを作ること」が採択されました。

1935年京都で地区大会が開催され、募集した新作の「日本語によるロータリーソング」の発表が行われました。

第一位 「旅は道ずれ」

第二位 「奉仕の理想」

第三位 「平和を人の世に植え」

第四位 「我らの生業」

第一位に当選しました作品は、作曲で一部に盗作があったので失格になり、「奉仕の理想」が、第一位に繰り上げ当選となりました。

作詞 前田和一郎(京都RC)

作曲 萩原栄一(東京RC)

作詞者の前田和一郎氏は、京都RCの会員で国際派の活動的なロータリアンで

した。応募しました「奉仕の理想」の原詩は、

奉仕の理想に 集いし友よ

世界に捧げん 我らの生業・・・

でした。

当時のガバナーは、村田省蔵氏で、国粹主義者で著名な方で、愛国心が特に強く、新ソングの選考に当たり「奉仕の理想」の歌詞の中で「世界に捧げん」を「御国に捧げん」と変えなければ、当選は無効という通達を出したのです。

前田氏は、涙を吞んで変更を承認されましたが、逝去される際親しい友人を呼んで、「もし出来ることなら何時の日にか原詩の『世界に捧げん』に戻して頂ければありがたい」と言ったのが、遺言であったと言われております。

成川 PDG からお聞きしたのですが、京都 RC の見解は、「この歌は、今や日本のロータリー共有の財産でありますから、京都 RC が歌詞の変更などについて決定する筋合いのものではありません。クラブ・地区のご判断でどちらでも好きに歌われては・・・」とのことです。

如何でしょうか。慣れ親しんだ歌詞ではありますが、ロータリーの進む方向・思想を考えますと・・・(RID2640 成川守彦 PDG よりお聞きしました。)

ところで、ロータリーソングは何時の頃から提唱されたのでしょうか。1907年のことです。この頃、シカゴ RC は、「親睦」か「奉仕」かを巡って激論が続いていたとのことです。その中で、ロータリーの原点の 1 つでもある「親睦」は、ロータリーにとっては譲ることの出来ない絶対価値であり、「親睦」は心を通わせることであり、そのためには童心 少年の心の回復だと考えたハリ－・ラグラスは、歌を歌おうじゃないかと始めたのです。このひとは、五人目の入会者で 1905 年 3 月 9 日の二回目の会合がポール・ハリスの事務所で開かれた時から出席しております。また、余談ではありますがシェルドンの推薦者でもあります。彼は、こんな考えで歌を皆で歌い始めました。それは、子供の頃の親しんだ歌だったとのことです。

お気づきになったと思いますが、ロータリーソングは、親睦を回復するために童心から出発し、少年の心を保つために歌う歌ですから、日本のロータリーソングの慣例をもうチョット幅広くしたほうが・・・

現在、RI の理事会が推奨していますロータリーソングの大体四分の三は、ロータリアンが作った歌ではありません。(小堀憲助著「ロータリーの原点」より)

2003 年 6 月 19 日 宇都宮北 RC 鈴木 宏